



園だより



10月号
2022年9月30日発行
ひまわり第1保育園
TEL 22-5172 FAX 22-3911
dai@h-himawari.net

朝、夕と肌寒さを感じ、日中も過ごしやすい季節になりましたね。道沿いの街路樹や園庭のいちようの木も薄っすらと色が落ち黄色くならうとしています。子どもたちは砂に触れてあそびんだり、築山を上り下りして楽しんでいます。大きい子はかけっこや鬼あそびで盛り上がっています。また、近くの草むらや土手に出かけ、虫捕りを楽しんだり、どんぐり拾いをしたりと探索を楽しんでいます。

お知らせ



- ①来週(3日)から夏用の午睡マット・タオルケットを敷布団・薄い掛布団または綿毛布に変えてください。
- ②22日(土)は運動会を行います。詳しくは先日お配りしたお便りをご確認ください。なお、雨天の場合はいちよう組、ぽぶら組以外のクラスは通常の土曜保育を行います。
- ③3日、4日の16:30~17:45まで整地作業を行いますのでご協力をお願いします。
- ④整地作業に来ていただける方はももの部屋横の通路もしくは西側駐車場奥から園庭へ入ってください。 ※軍手や鎌など草取りの道具があればお持ちください。
- ⑤汚れ物袋が入っているか毎日、確認をお願いします。
- ⑥31日(月)はお弁当の日です。
- ⑦涼しくなり、散歩に出かける機会も増えますので靴での登園をお願いします。
- ⑧保育園のホームページに園での行事や活動を紹介していますのでぜひご覧ください。
- ⑨10月から小川保育士が新しい職員としてたんぽぽ組の担任になります。

考える力を耕す保育～生活を共に過ごすなかで身につけること～

愛知・けやきの木保育園 平松知子

転ぶずっと前からの先の杖

「園長先生、年中になったら竹馬を買ったほうがよいのでしょうか？」

春になったばかりのころ、あるお母さんからたずねられました。きけば、毎年運動会で、5歳児が竹馬をやるようだから、年中(4歳児)くらいから家でも竹馬を買って自宅練習をする人がいるようなのです。あんぐりと口をあける私に代わってそこにいたベテランのお母さんがこう言ってくれました。「買う必要なんてないよ。あのね、運動会の竹馬は、『なかまのなかで乗れるようになる』のだから。ね、園長さん」と。

竹馬を自宅でも買って、これを機会に家族で竹馬を楽しむというのなら「それもありか」と思うのですが、もし「5歳児の運動会で乗れなかったらどうしよう」という不安から、保育園で取り組む前から家で練習をし、「みんなより先に乗れるようにさせてあげたい」という気持ちがあるのなら、「そんな心配はしなくても大丈夫だよ。子どもは親が思っている以上にけっこうたくましいよ」と言いたくなります。

このことに限らず、最近少し気になるのが、わが子を愛しく思うあまりに、失敗させぬよう、困らぬよう、恥ずかしい思いをさせぬように、親がちやんと「子どもがやろうとする前に」杖を用意しがちな風潮です。「転ばぬ先の杖」は、自分の経験から自分に杖を用意できるのが本来の姿であり、おとなが先回りして子どもの杖を毎回用意してしまうと、お宝の経験を奪ってしまうことになることを、親のみなさんと考えあいたいところ。そして、そんなかけがえのない「お宝の経験」を積めるのが、保育園などの「集団生活の場」なのです。

生活の場である保育園には、葛藤したりうまくいなくて悔しく思ったり、思わぬハプニングで困ったりするようなお宝の体験がいっぱいです。幼児になると、乳児のころから耕してきた「自分らしさ」を力に、友だちとのやりとりの中でさまざまなことが起きてくるので、利害関係も人間関係もあわさって、実に豊かな生活体験が繰り返されています。3歳児時代にたっぴりと「みんなであそぶとたのしい!」という経験を積み重ねてきた子どもたちは、4・5歳児クラスでは、さらに仲間のことも自分のこともより深く見つめるまなざしをもつようになります。この時代に私たちは生きる上で大切な力が身につけていくと感じています。それは「考える力」です。まさに、乳児期の生活リズムと並ぶ、幼児期のお宝であるのです。

～ちいさいなかま より～



秋の歌紹介



小さいクラスから大きいクラスまで季節毎に色々な歌をうたっています。小さい子は歌に合わせて身体を動かしたり、手を動かして楽しんでいます。また、大きいクラスの子どもたちはとっても元気に歌をうたっています。

秋のそよ風

◎宮江京子/作詞◎須川 久/作曲

あきの そよ-かぜ- やーまに- じけば
あ-かい もみじば かさかさか さと いっ た
やまの くりのみ ころころころり おちて
2 - ろり ころころころ やまみちころん ころん 2ん
た - り の お がわ 12 - ころころどんとおちたとき

秋のそよ風
あきの そよ風 山にふけば
あかい もみじば
かさかさ かさかといつた
やまの くりのみ
ころころ ころり おちて
ころり ころり ころり ころり
やまみちころりん ころりん ころり
たにの おがわに
ころころ どぶんとおちたとき
あきの そよ風 いなほにふけば
かかし かんざぶろうが
ゆらゆら ゆらといつた
かわい しいのみ
ころころ ころり おちて
ころり ころり ころり ころり
さかみちころりん ころりん ころり
てらの こいけに
ころり ぎぶんとおちたとき

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
行事			安全点検の日 整地作業	ぽぶら組懇談会 整地作業			三瓶登山(ぽぶら組)			スポーツの日			いちよう組懇談会	避難訓練								運動会				誕生会					お弁当の日・いちよう組登山